

ぬくもり

橋本地区社会福祉協議会だより

第43号

発行 橋本地区社会福祉協議会
会長 森 誠 壽
事務局 緑区合同庁舎社会福祉協議会内
TEL 042-775-8602

人口 72,080 世帯数 36,362 (令和6年11月1日現在住民基本台帳) 自治会数 29

誰もが社会参加できる地域を目指して

橋本地区社協では、「福祉講座の開催」「長寿のお年寄りをお祝いする高齢者事業」「活動拠点の管理運営をはじめとした福祉コミュニティ形成事業」「ボランティア団体や地域福祉活動団体への活動費助成などの支援事業」「障がい

地区社協「つて？」
橋本地区社会福祉協議会（橋本地区社協）は、地域の方々が「自分たちの地域は自分たちでよくしていく」という気持ちで組織された任意団体です。地域のさまざまな住民団体が構成メンバーとなり、地域福祉活動のまとめ役としての役割を担い、地区にある福祉課題の解決に取り組んでいます。



【高齢者サロン】

サロンの名	開催場所	開催日時
1 いきいきサロン相原	相原公民館	第3水曜日 午前10時～
2 相原お茶会	相原公民館	第2水曜日 午前10時～
3 いきいきサロン希望	橋本公民館	第1金曜日 午前10時～
4 布で遊ぼう	サン・エールさがみはら	第2・3・4木曜日 午前9時～
5 サロンかなりや	橋本1丁目自治会館	第4火曜日 午前10時～
6 いきいきサロンひだまり	神明大神宮社務所	毎週水曜日 午前10時～
7 いきいきサロン二本松集会所	二本松集会所	第4土曜日 午前10時～
8 レモンの友	橋本ライフタウン自治センター	金曜日 午前10時30分～
9 橋本ほほえみ広場	橋本3丁目新町自治会館	第2火曜日 午後1時30分～
10 やすらぎの会	当麻田ふれあい自治会館	水曜日 午後1時30分～
11 サロンベチカ	二本松3丁目	第3水曜日 午後1時30分
12 コミュニティカフェより道	元橋本2丁目	毎週火曜日 午後1時30分

【子育てサロン】

サロンの名	開催場所	開催日時
1 わんぱく広場	橋本公民館	第4金曜日 午前10時～
2 ぬくもり子育てサロン	ふれあいの家ぬくもり	第4火曜日 午前10時～

地域には、高齢・障がい・子育て・病気など様々な悩みや不安を抱えて支援を必要としている方がいます。相模原市社会福祉協議会（市社協）は地域の「困りごと」を住民同士の支えあいで解決したり、住民や行政・専門機関と相談しながら、誰もが安心して暮らせる街になるよう、地域の福祉を推進している民間団体です。市社協では、地区社協の取り組みを支えるため市内22地区の地区社協事務局に、地域福祉推進員や支援員を配置し、住民の地域活動支援を行っています。

『市社協』つて？

また子育てサロンは、子育て中の親子が交流し気軽にしゃべりできる場として開催しています。仲間づくりを通じて育児不安の解消等、孤立した子育ての予防をすることを目的にしています。

地区社協では、このようなサロン活動の運営費の一部を助成しているほか、代表者を集めた情報交換の場や研修会の開催等を通じた支援を行っています。

高齢者・子育てサロンの支援

者とのふれあいを図るイベント」などを行っています。

サロンは、身近な地域で定期的に住民が集い、おしゃべりや余暇活動を通じて交流等を行う、住民の皆さんの自主的な活動です。

高齢者サロンは、高齢者が住み慣れた地域でいきいきと暮らし続けることが出来るように集い、通う場所です。社会参加の機会確保や閉じこもり予防、健康維持等の効果が期待されています。

橋本地区社協 活動報告 令和6年度

5月 《総会》 《理事会》

6月 《サロン交流会》

7月 《一般賛助会員募集》

自治会にご協力いただいています
(実績額1,336,800円)

《活動育成費交付》

8月 《七夕まつり参加》

9月 《ふれあい招待事業》

9月5日、上大島キャンプ場にて開催しました(招待3団体34名)

《敬老事業》

実行委員会として80歳以上(4/1現在)の方々
に祝い品をお届けしました(対象者5,107名)

《米寿祝い記念事業》

88歳(米寿)をお祝いし記念品と寿詞賞状を
民生委員がお届けしました(対象者175名)

10月 《街頭募金》



【参加団体】
相原森の上自治会
二本松町内会
上松並自治会
橋本三丁目新町自治会
小山高砂町自治会
東橋本南自治会
橋本地区民生委員児童委員協議会
橋本地区の福祉を考える会

相原森下自治会
二本松自治会
西橋本四丁目自治会
橋本本町自治会
橋本四丁目自治会
小山久保町自治会
小山本町自治会
JA相模原市女性会旭支部

相原当麻田自治会
二本松三丁目自治会
わかば自治会
橋本末広町自治会
小山寿町自治会
東橋本第二自治会
宮上本町自治会
橋本地区保護司会

《赤い羽根共同募金》

自治会にご協力いただいています
(募金額1,632,877円)

《福祉募金》

募金額29,086円

11月 《視察研修》

大山自治会(立川市)の活動を視察しました

《福祉講座》

11月27日、映画「梅切らぬバカ」を上映しました
(参加者135名)

《高齢者地域活動 感謝状贈呈》

11月27日(対象者4名)

《年末たすけあい募金》

自治会にご協力いただいています
(募金額620,100円)

令和7年 1月 《機関紙「ぬくもり43号」発行》

(募金額等実績数値は令和6年12月1日現在)

【福祉募金】募金箱設置のお願い

橋本地区社協では、福祉講座開催、敬老事業、福祉活動拠点運営、ボランティア団体等への活動費助成支援、障がい者とのふれあいイベント実施などの財源とするため、広く福祉募金へのご協力をお願いしています。

ついては、この募金箱を設置して頂ける店舗等を求めています。募金箱設置を検討いただけます。詳細をご説明に伺います。地区社協事務局042-775-8602へお電話ください。



募金箱設置協力店

(令和6年12月10日現在)

- ・橋南堂(橋本)
- ・そは軽兵衛(相原)
- ・二本松薬局(二本松)
- ・田嶋商店(二本松)
- ・チキンフード大和田(二本松)
- ・ヘアスタジオユーズ(橋本)
- ・志美津屋(橋本)
- ・和菓子処やまもと(橋本)

おめでとうございます(敬称略)

☆相模原市社会福祉功労者表彰
関 欣人

☆相模原市社会福祉協議会顕彰
伊藤 孝久 田野倉義信

梅澤 幸一

☆橋本地区社会福祉協議会褒賞
塩野 行康

☆高齢者地域活動感謝状贈呈
濱田トヨ子 亀田 潔

桐谷 久雄 前田 悦男

株式会社永田屋
懐メロ友の会
森 誠壽

橋本四丁目団地自治会
小山本町自治会
橋本睦町自治会
橋本ふるさとまつり実行委員会
イオン橋本店(黄色いレシート)

◎編集後記

昨年は大地震、大水害と大変な年でした。今年こそは、災害が起ころず、心穏やかに日々過ごすことができますように。





あいはい

ふれあい 楽しむ

「学ば仲間と元氣ハッラツ」相原ふれあい学級（高齢者学級）はこのテーマで全8回実施されました。社会見学は、バスに乗り最初に市立博物館へ。展示「相模原70年と学校給食のあゆみ」では、子どもの頃を思い出して会話が弾み、宇宙食をお土産に買い求める方も沢山いました。楽しく昼食をとり、厚木市にある県総合防災センターへ。様々な想定の大地震や暴風雨を体験し、日頃からの自助・共助の大切さを学びました。もう少し幅広い年齢の相原成人学級も「現代を生きる我々の身近な課題を考える」をテーマに全8回の活動をしています。最終回は雅楽を体感します。これからも「出会い・ふれあい・学びあい」です。

11月3日相原地区ふるさとまつりが、快晴のもと開催されました。相原公民館のたくさんの方、イス、テントを活用しました。橋本地区社協、保護司会、民生委員児童委員協議会などの関係機関や公民館各部会や自治会、商店街など多くの方々が

協力し合ってイベント、模擬店、大抽選会にと家族連れから高齢者まで楽しんでいただきました。また久しぶりの会話にも花が咲いたようです。こうしたふれあいの機会は大切ですね。

はしもと

「ふれあい・いきいきサロン」
「ぬくもりカフェ」への

ご参加のすすめ

「サロン」は、地域住民がつくる地域交流の場で、全国では数万家所に達し、一市町村に20ものサロンがあることになりました。サロンという住民同士の交流の場を欲している人がたくさんいる、ということ。参加者全員が主役のサロンは、気楽で開放的な語り合いとレクリエーションの場です。橋本地区社協の管内にも、「いきいきサロン希望」（毎月第1金曜、橋本公民館）をはじめ、12のサロン・ハッピー表参照Vがありますので、ご都合の良いところへぜひご参加ください。

「ぬくもりカフェ」（認知症カフェ）は、認知症の人にやさしい橋本のまちづくりをめざして、認知症の正しい知識と予防法をみんなで学び、日々の生活に活かすオープンな集いです。

認知症のことを正しく知り、自ら予防を図るとともに、認知症の人への温かいまなざしと配慮を身に付けていただきたいと願って開催されています（毎月第2金曜、橋本公民館）。

超高齢社会が進展する中、まずは、自らが可能な限りすこやかな日々を送ること、その大切な要件の一つとして、人的交流（社会参加）があげられます。

住民同士、心を許して話し合える橋本の町づくり、皆さんのお力添えをよろしく願います。詳細は、地区社協（042-775-8602）あてお問い合わせください。

みやかみ

民生委員・児童委員って

何をしているの

宮上地区で民生委員・児童委員をしております。高齢者のお宅に見守りに伺いますと私たちの活動内容を知らない方が何人もいました。活動の一部を紹介したいと思います。

民生委員・児童委員の活動は、多岐に渡っておりますが、主な内容は、高齢者や障がいのある方など支援を必要とする方の安全確認と見守りです。また、生活費や医療費、介

護、子育てなどの生活相談や地域の福祉に関する情報提供などです。

日常の活動の主となります見守りについて更に詳しくお話しさせていただきますと、担当地区が決まっております。見守り対象者は、事前の調査で決めています。10月に実施する80歳以上の方にお茶を配る活動がありますが、高齢者やそのご家族の方にお会いし、身体状況、家族状況、親族の訪問状況、介護サービスの利用状況で訪問頻度や時間を決めて、巡回しております。

民生委員・児童委員は、行政サービスへのパイプ役であり、相談者のご要望に際しては行政の専門職や関係機関と連携し、速やかな対応をしております。

地域の皆様の身近な存在として、困ったことがありますしたら気兼ねなく、お近くの民生委員・児童委員までご相談ください。



地区社協が取り組む 啓発活動

福祉講座「ともに生きる」

橋本地区社協では例年、地域の住民に向けた福祉講座を開催しています。令和6年2月に「ともに生きる」をテーマに開催しました。橋本にお住まいで、視覚にハンディがあり盲導犬とともに積極的に活動をしている、プロのトロンボーン奏者、鈴木加奈子さんによる、トークとトロンボーンの演奏を行い、150名の参加者がありました。

視覚にハンディのある方や盲導犬ユーザーへの接し方等について、映像も交えて分かりやすくお話しいただきました。後半は盲導犬アリエルとの思い出を元にしたオリジナル曲など、数曲のトロンボーン演奏を聴きました。



参加者からは、「盲導犬と一緒にどのようにつづることが分

かりました」、「障がいがあっても様々なことに挑戦し、そこから新たな発見をし続けていることに後押しされました」等々、心温まる感想が数多く寄せられました。

イベントを通じた啓発活動

福祉カーニバルin橋本が令和6年6月に橋本公園にて開催され、地区社協ブースで子どもが楽しめる「魚釣り」を行いました。「つれた！つれた！」と子どもたちの元気の良い声とそれを盛り上げるボランティアの声が会場に響きました。



福祉カーニバルin橋本は、児童や障がい・高齢者福祉に携わる事業所や地域の団体が、相互に顔の見える関係をつくる機会として、また若者や障がいのある方の活躍する機会として開催されたイベントです。当日は地区社協を含む18団体・22のブースが出展し、様々な福祉啓発活動がされた他、キッチンカーによる飲食の販売やマ

ジックショー等が行われ、500名を超える参加がありました。

地区社協LINE

公式アカウント

カーニバルでの地区社協ブースのボランティアは、学校を通じた声かけに手を挙げた橋本高校の生徒さんその他、橋本地区社協の公式LINE登録者への呼びかけに応じていただいた方々でした。公式LINEには、現在60名以上の方が登録しており、地区内で開催する福祉の研修会やボランティア活動の情報や随時発信し、活動への参加を呼び掛けています。

橋本地区社協では、このように研修会の開催やイベントへの出店の他、SNSによる情報発信等、様々な方法を通じて、より多くの方に自分の住む街の福祉に関心を持ち、活動に参加していただく取り組みを進めています。皆さんの一歩を応援する取組に、ご理解とご協力をお願い致します。



地域住民による子育て世帯向け福祉活動の一つに子ども食堂があ

子ども食堂	開催日	会場
げんき食堂	第2・3水曜日 16:30～19:00	橋本公民館 (橋本6-2-1)
なのはな	第1・4土曜日 14:00～16:00	ソレイユさがみ (橋本6-2-1)
あそびば☆かわせみ	第2土曜日 11:30～14:30	グラントーレ橋本2FA (橋本6-36-1)
マリ・いこいの家	毎週火曜日 17:15～18:30	マリ・いこいの家 (東橋本3-16-8)
Kid's Café Forest	不定期水曜日 18:00～21:00	相原公民館 (相原4-14-12)
くまちゃん食堂	第3金曜日 18:00～19:00	福田屋商事ビル1F (橋本6-27-4)

現在、橋本地区内には6箇所の子ども食堂があり、親子を対象に無料ないし低額での食事提供が行われています。

子ども食堂にご関心のある方は、市社協中央ボランティアセンター（042-786-6181）までお尋ねください。